

文学の散歩道 入選作品 卯月（四月）

短歌

断捨離の車見送りほろほろと
思い出こぼれ掃除機かけぬ

高木 都人

湖よりの風に散りゆく桜花

近江富士 林 くみ子

短き命の美しき舞

ふと見ると芹の葉ゆれる幾重にも
にぎやかなりし春の小川は

守山市 小島 京子

俳句

門前の蕎麦屋の側を花筏

西河原 中山 博

春風の流るる如く孫巢立ち

高木 都人

未来みてふと見上げるよ朝桜

守山市 小島 京子

川柳

ゆるゆるとほどけていきますキミと春

辻町 おれんじ

思い切りマスク外ずして春となり

近江富士 中村 城啓

風を着て希望ヶ丘に命干す

小南 木楽蜻蛉

冠句（裏返す）

裏返す 咄嗟の機転母強し

竜王町 和美

裏返す 生命吹き込む土作り

竜王町 苗村 厚子

裏返す 九回裏のホームラン

高木 都人



次回 皐月（五月）の題目

冠句【受け入れる】

お問合せ 文化スポーツ振興課

電話：〇七七（五一六）四五六八